

クラブ通信 Vol.204

2025年5月



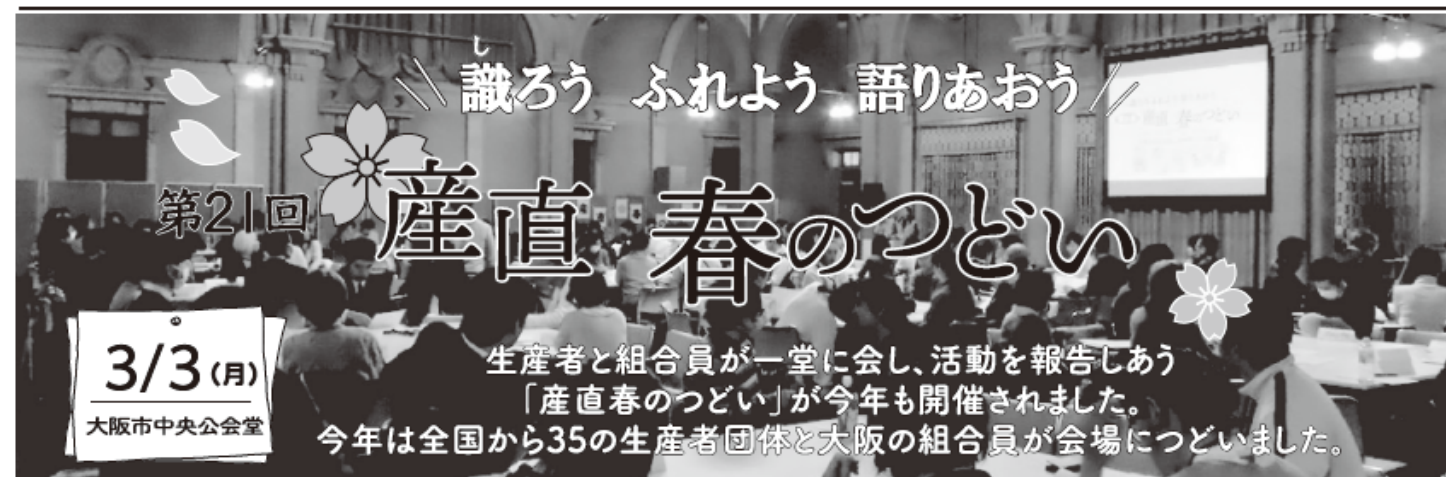
<https://osaka.seikatsclub.coop/>

TEL. 072-641-5547

発行/生活クラブ生協大阪理事会 編集/広報委員会 茨木市清水1丁目21番4号



3月度実績報告(2/21~3/20)			
◎組合員数	19,933人(3/20現在)		
加入	95人		
脱退	161人		
◎供給高	303,638千円(計画比)	98.2%	
		(前年比)	95.7%
一人当たり利用高	15,199円(前年比)	94.8%	



～今年も会えたね、おおぜいの生産者～

アイワ研究会、あくと、AgriGrand、麻井牧場、伊賀越、伊賀有機農産供給センター、茨城BM、ウインナークラブ、王隠堂農園、大矢商店、オルター・トレード・ジャパン、氷川アグリクラブ、JA熊本経済連、黒富士農場、珈琲工房まめ福、佐伊津有機農法研究会、産直南島原、島原自然塾、白州森と水の里センター、生活クラブ関西・ミート、天満大阪昆布、八ヶ岳会、肥後あゆみの会、肥後れんこんの里、ビュアライス久比岐野、淵上牧場、豆伍心、丸菱製麺、丸本・オランダ農協、水の子、御牧ヶ原りんご農場、山梨自然塾、山名酒造、米沢郷牧場/ファーマーズ・クラブ赤とんぼ、竜王町稲作経営者研究会



私は産直春のつどいに初参加で実行委員になりました。実行委員会でつどいのテーマやクイズの内容、トークテーマなどを考えたことでThink&Actの11番を実感しました。当日は生産者の声を聞き、組合員の声を届けこれからもつながっていくことの重要性を感じました。

午後の部では組合員発表やクイズ大会。この日はひなまつりだったのでひなあられの原料、お豆腐の大豆の種類、こんにやくの美容成分について、他に不思議なクイズも織り交ぜ、テーブルごとに答えを考えて盛り上がりました。その後コーヒーを楽しみながらテーブルトーク。

気候変動から生産者の高齢化、若手が集まった生産者、需要と供給のバランス等、各テーブルでのトークは学びが多くあり、これから周りの組合員にも伝えていきたいです。

(産直春のつどい実行委員会 安井亜紀子)



春のつどいは2回目の参加になりますが、前回は実行委員ではなく、組合員の一人として参加しました。その時は、知っている方も誰もいない状態でとても不安だったことを思い出し、今回は会がスタートするまで組合員に声をかけようと心がけました。

当日は、実行委員として生産者のひとことアピールの時にマイクを渡すのと、タイムキーパーを担当しました。無事にやり遂げてほっとしたのと達成感がありました。

私はほとんど生産者の顔と名前がまだ一致していませんが、私がいたテーブルでは生産者と組合員が話している様子が近所の方と話すような感じでした。こんなに話せるようになるには何回も参加することが大事なんだと感じました。

(産直春のつどい実行委員会 石井美佳)

詳しくはp.4～5へ

◆ 今月の紙面 ◆	●活動の報告 香里支所CO ₂ 内部監査 2	●こだわりの消費材 「そのままでも美味しい国産シュレッドチーズ」..... 6
	●地区総会 高槻北 山田 3	●家庭からの排水に意識を向けてみよう お年玉プレゼントクイズアンケート結果 7
	●「産直春のつどい」開催報告 4 5	●エコロ共済 Tea Time 「生活と自治」 理事会報告 つぶやき 8

活動の報告

2024 年度 地区総会 各地区で開催！

私たちの活動の基本単位である地区は、年度末に毎年地区総会を開催します。その年の活動や会計報告を確認し、次年度の活動について参加組合員で話し合います。また多世代でいろんな情報を交換し、楽しい企画で交流する場ともなっています。

組合員には一人一票の議決権（発言権）があります。あなたも来年は参加して、やってみたい活動を実現してみませんか？

地区総会「春野菜のパワーでデトックス」

「地区総会」ってなんだか堅苦しいイメージと敬遠されがちですが、同じ地域に住む組合員同士で消費材の食べ方から子育ての悩み・健康の話などで盛り上がります。委員が地区で開催した企画を 11 項目ある Think&Act[※]（生活クラブに関わる全ての人々の行動原則）にあてはめて振り返り、企画参加者にも感想を発表してもらい、消費材の持つ意味を学ぶ場にもなっています。

合わせて「春野菜のパワーでデトックス」をテーマに旬の野菜のエネルギーと栄養に満ちた「やさしいBOX」の実物を見てもらい、以下の2点について説明しました。

- ・無理に季節外れの野菜を作らず、旬のものしか作らないから農業は使わない。
- ・組合員と生産者がともに「食べる約束」と「作る約束」をすることでより品質が高くなり、1年を通して利用しやすい価格で供給されている。

試食は白和え、揚げ物、スープなどを調理し、青菜は他の種類で代用できることを理解してもらえたと思います。新鮮で素材の持つおいしさに舌鼓を打ちました。『子どもの苦手なやさいが届くから困る』といった声も聞かれましたが、レシピ提案をして1件のよやく・るがあり



※Think&Actの内容は
コチラをご覧ください。

3/4
参加 11人
茨木ブロック 高槻北地区
高槻クロスパル



春野菜た〜っぷり！

地区総会「エコクッキング」

～てんきの話を聞いてプリンを食べよう～

総会では、なじみの出席者と共に、今年度の報告と振り返りをしました。

総会後は自然エネルギー委員会講師による、でんきの学習会。日本の電源構成の現状（CO₂排出が最悪の石炭火力が多い、原発再稼働が増えているなど）についての話や、2月に行われた「太陽光パネルリユース・リサイクル工場見学」の報告でした。最近問題視されがちな使用済みパネルの処分について知ることができました。

パネル枠のアルミ、パネル本体のガラスとバックシート（黒い部分、銀を分離）に分け、それぞれリサイクルされます。リサイクルしにくいガラスは、発泡ガラスに加工して、路面材など新たな用途を開拓中で、廃棄物として埋め立てるものはないそうです。いいですね！

保温調理で作ったなめらかプリンと非常食を意識した常温解凍のベーグル、フライパン加熱のチキンナゲット、カレーコロッケの試食をしながら、話題は尽きず、皆で楽しい時間を過ごしました。（小松原千恵）



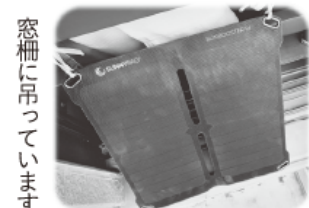
3/6
参加 5人
千里ブロック 山田地区
夢つながり未来館



講師の2人も一緒に
試食（おしゃべり？）
タイム。



フタ付きの鍋に水を張り、プリン容器を並べて2分弱火で煮たて、新聞紙・バスタオルで包み20分放置。ガス代節約でなめらかプリンの出来上がり。



日々自宅で活躍する、スマホ充電用の小さなソーラーパネル。

窓柵に吊っています。

CO₂排出総量45%削減をめざして

活動の報告

～香里支所、CO₂内部監査を実施しました～

生活クラブでは、生協事業における2030年のCO₂排出総量を45%削減(2013年度比)することを目標にしています。生活クラブ生協大阪でも、2019年より運用改善によるCO₂削減行動に取り組んできました。昨年の茨木支所に続き今回は香里支所の取り組み状況について、組合員によるCO₂内部監査[※]を行いました。



事前に「CO₂削減チェックシート」にて、139項目の取組状況を確認し、質問事項をまとめました。
監査当日は現物確認を行いました。

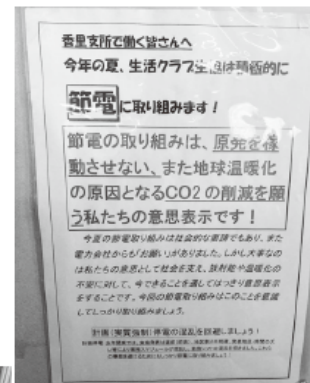
☆実践できていること

（「CO₂削減チェックシート」より抜粋）

- ✓ 太陽光発電設備を導入し、太陽光エネルギーを電気として利用。余剰分は生活クラブエナジーへ売電している。日中は間引き照明を実施。LED照明を採用。
- ✓ 冷暖房は適温化を徹底している。
- ✓ コピー用紙の使用については無駄を省き、裏紙を活用しやすい工夫をしている。
- ✓ ドライブレコーダーを導入し個人燃費集計データを職員間で共有。燃費向上に取り組んでいる。アイドリングストップへの意識が高まっている。



Rびんのフタやキャップは自治体の回収へ出してね



↑目的を共有して
節電に取り組んでいます



←回収対象でない
ものがこんなに沢山！
ルールを守ってね

☆その他、今回の監査でわかったこと

- ✓ 細やかな調整によるドライアイス発注量の削減。
- ✓ 車両点検の適切化や配送ルートの見直しなど更なるCO₂削減に向け検討している。

☆指摘事項と改善に向けた取り組み

- ✓ 節水を意識した水道の使い方。
- ✓ Rびん回収呼びかけチラシの改善。
- ✓ グリーンシステムがCO₂削減につながることを職員・組合員への周知。

☆私たち組合員が取り組めること

- ✓ Rびんは必ず返却する。
- ✓ 荷受け時、不要なドライアイスを返却する。
- ✓ グリーンシステム回収ルールの周知。対象物以外の物→リユースビン以外のビン、缶類、食肉のトレイ、他生協の保冷剤、新聞紙、カタログ、市販品のゴミなどは廃棄物となり処理費用も掛かるので回収に出さない。

☆監査者の感想

支所での脱炭素の取り組みは、組合員がしっかり実行することで、もっと進むと思いました。Rびん以外は返さないでね。

不必要な冷暖房・電灯の管理や、運転の仕方による燃費向上など、私たちも日々の生活で参考にしていきたいことがたくさんあると感じました。

CO₂削減の施策がいろいろあり、しっかり実行されていると感じました。そしていずれ電気自動車の導入の検討もしてほしいかと思いました。

ドライアイスの削減について、とても努力していることがよく分かりました。長時間留守にするかもしれないから多めにに入れておいて欲しい、ではなく、なるべく早めに片づけるようにする、直接配達を受け取れる時は返却しドライアイスの削減に少しでも貢献できれば、と考え方を改めました。

3/12
香里支所

監査者：理事4人、自然エネルギー委員1人
被監査者：支所長 理事長

※CO₂内部監査とは…CO₂削減行動を実施している生協施設を対象に、監査者（組合員）がその取り組み状況を確認し、CO₂削減目標達成に向け共に改善策を考える監査活動。生活クラブ連合会の「持続可能な生産と消費」推進制度のもとに行っている。



香里支所



毎年恒例のクイズ大会。意外と難しいので、真剣に話し合います。



会場の様子
つどいだから聞ける
ここだけの話もあるよ♡

広い会場に各地の生産者、組合員が大集合。同じテーブルを囲んで意見交換する貴重な機会です。



「組合員とコミュニケーションがとれる関係を大切にしている。野菜を通じて一緒にいろんなことを考えたい」(伊賀有機農産供給センター)という声も。

生産者の高齢化、生産原価の高騰も

少子高齢化も物価高も、私たちの生活に影響していますが、生産の現場では？



茨城BM(野菜・清水さん)

40℃で雨が降らない、雨が降れば豪雨、そういう非常に厳しい過酷な環境下で農家は作業している。資材費人件費等生産原価の高騰もある。果たして今の価格は適正なのか、再生産可能な価格なのか？ もう一度産直の意味を考え、産地と組合員がつながる付き合いができればいいと思う。



黒富士農場(鶏卵・向山さん)

気候変動、鳥インフルエンザ、飼料価格の高騰など様々な課題がある。



大矢商店(大矢さん)

こんにゃく芋(和玉)の栽培には本当に手間暇がかかる。生産者の高齢化であと何年もつかわからない状況。組合員の食べる力を借りたい。



ハケタ会(りんご・北澤さん)

様々な課題がある。日々勉強・工夫しながら品質向上をめざして取り組んでいるが正直厳しい。



麻井牧場(麻井さん)

牧草の育ちが悪く飼料や生産経費の高騰で厳しい状況だ。組合員にはとにかく食べて利用してほしい。



生産者の取り組み・意気込み



・今春から酪農家と一緒に堆肥を作る。従来から取り組む循環型農業を更に進める。(米生産者)
・BMW生物活性水のプラントを導入した。いい作物作りに活用していきたい。(米生産者)
・BMの技術を更に研究して、農業を使わずに気候に合わせて強い作物を作っていく。(野菜生産者)

・20代の後継者が多い。技術向上のため、定植や出荷時期には集まって意見交換している。(野菜生産者)
・世代交代し法人化した。発展・拡大・安定して農産物を届けたい。会社の方針は「農業を通して関わる人に喜んでもらいたい」(ミニトマト生産者)
・新規就農者がいて、仲間が一人増える。(野菜生産者)
・今年からトマトを出荷する(20代の若手生産者)
・作業軽減のため、栽培期間が短く重量が軽いミニ白菜やミニ大根の栽培を考えている。(野菜生産者)

参加者のコメント

- ・生産者は常に勉強していて、新しい技術を取り入れたり、作る仲間を増やしたり、いい作物を組合員に届けるための努力がすごい！
- ・若い生産者のやる気に満ちた表情が印象に残っている。とても心強い。

参加者のコメント

- ・生産における厳しさは私たちの想像を超えていると思う。
- ・組合員はよやく(登録)で継続利用すること、食べる人を広げることが必要。
- ・大変さや工夫を知り、より感謝して食べようと改めて思った。
- ・この品質で作ってくれている生産者をもっと大事にしたいといけな。

参加者のコメント

- ・気候危機の影響がこれほどまでとは。私たちの食料、この先大丈夫なのか？
- ・日々自然と向き合って作物を作ることには本当に大変なことだと実感。毎週野菜や果物などが私たちの手元に届くまでの過程のことを思った。
- ・食べ支えるだけでは足りない。気候危機の回避には再エネへの切り替えでCO₂削減が必要だ。再エネで支えたい！

第21回 \ 識るう ふれよう 語りあおう /

3/3(月)

大阪市中央公会堂
3階 中集客室

参加179人
(生産者71、組合員92、職員16)

産直春のつどい

今年も会えたね、おおぜいの生産者

午前の部では、生産者からの一言アピールに続き、テーブルごとに生産者・組合員・職員の交流会があり意見交換しました。生産者から口々に語られた気候危機による作物と人へのダメージ、経費高騰による厳しさ。それらを受け止めた組合員が考えたこと。当日の内容と組合員の感想から抜粋して紹介します。



天満大阪昆布(喜多條さん)

日本でとれる昆布の95%は北海道産。気候変動のせいで昆布が段々減ってきている。



御牧ヶ原りんご農場(塩川さん)

異常気象で去年はひどかった。高温多湿による病気の蔓延、カメムシ被害が発生。



竜王町稲作経営者研究会(臼井さん)

豆伍心の豆腐の原料大豆を作っている。高温多湿、病気発生、虫の被害で平年の15%程度と収量が激減。



王隠堂農園(辻田さん)

去年は梅の開花が早く受粉前に落花してしまい梅が収穫できなかった。



ハケタ会(北澤さん)

ファン付きの作業服を着ていても、尋常でない暑さに倒れそうになる。



大矢商店(大矢さん)

酷暑の中でのこんにゃく芋の蒸し作業が大変。人間も作物もダメージを受けている。

気候危機の影響 産地では..

「気候危機で生産者が大変な思いをしている」とよく耳にします。その実態は？



AgriGrand(谷川さん)

標高400~600mでミニトマトを栽培。40℃近い気温で受粉不良となり欠品した。



オルター・トレード・ジャパン(山下さん)

去年は10個くらい台風が来てバナナがなぎ倒されて供給できなかった。エコシュリンプの粗放養殖池では、大雨で辺り一面海のようになりエビが全部逃げてしまうことが起きた。日本国内と同様に世界の産地でも気候変動の影響が出ている。異常気象に振り回されている。



佐伊津有機農法研究会(明瀬さん)

11月の高温と雨が降らなかったため柑橘の実が殆どなかった。



白州森と水の里センター(竹内さん)

標高700m、野菜作りにはよい環境(山梨県北西部)と言われるが、酷暑・暖冬と年々厳しくなっている。暑くて野菜がとれない。



丸本・オンダン農協(嵐さん)

夏が暑すぎて、鶏舎の窓の開閉や散水をして追いつかない。



伊賀有機農産供給センター(木下さん)

自分たちは果菜類が中心だが、果樹の生産者の方々の大変さを想うと…。厳しい気候の対策というより、その都度(酷暑・暖冬・少雨・多雨など)に考えられる対策をしている。受け手とコミュニケーションがとれる関係を大切にしている。

家庭からの排水に意識を向けて

～下水処理施設見学で学びました！～

南吹田水再生センター



食器の油污れは拭き取ってから洗おう！

私たちは日々の生活で水を使い、台所や洗濯、お風呂などから排水しています。水環境への影響はどうか？「環境への負荷が少ない石けんを使っているよ」という方も一緒に考えてみましょう。

環境委員会は委員研修として下水処理施設「南吹田水再生センター」へ見学に行ってきました。下水処理の運転や水害に備え職員の方々が24時間体制で管理されており、私たちの日常生活において問題なく使用できるよう街の水を浄化し循環させてくれているのです。

さて、ここで質問です。汚れの度合いを示す指標にBOD（生物化学的酸素要求量）という数値が使われますが、その数値が最も高い排水場所は家庭のどこだと思われますか？その比率は上から台所40%・トイレ30%・風呂21%・洗濯9%で、すなわち台所からの排水（汚水）が処理により多くの時間と電気代がかかるということでした。汚水の原因として特に天ぷら油、次いでマヨネーズなど油污れのBODの数値は断トツで高く、シャンプーや合成洗剤、ソースや牛乳なども続きます。

調理後の道具や使用済みの食器についた汚れを、そのままシンクで流していませんか？水環境を守るためには「汚れを流さないようにするか」がポイントです。食器洗いの前にはフライパンやお皿の汚れをウエスなどでよく拭き取ってから、しっかり泡立てた石けんで洗うことが大切です。消費材にもあるセスキ炭酸ソーダを使ってセスキ水のスプレーを作り、油污れに吹きかければ拭き取りやすくなります。

自分が流した排水が未来に繋がっていることを意識して、環境負荷を減らすため家庭でできる少しの工夫を実践していきましょう！（環境委員会 益田友梨）



見学の詳細はコチラ →
エコメールNo.7
南吹田水再生センター見学レポートを見てね！

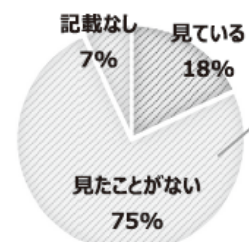


回収総数
628枚

お年玉プレゼントクイズ・アンケート結果発表！

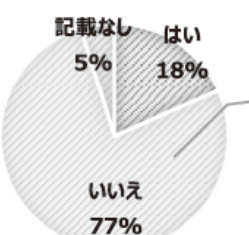
今年も広報委員会アンケートにご協力ありがとうございました。様々な回答に励まされたり反省したり…。これからわかりやすく楽しめる紙面をめざして頑張ります。

★生活クラブ生協大阪のInstagramを見えていますか？

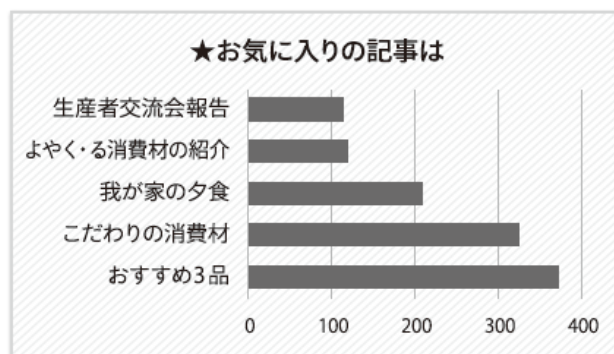


4人中3人が見たことない…まだまだですね。フェスタをはじめ、いろんな企画の案内もしているので、ぜひ皆さん、のぞいてみてください。

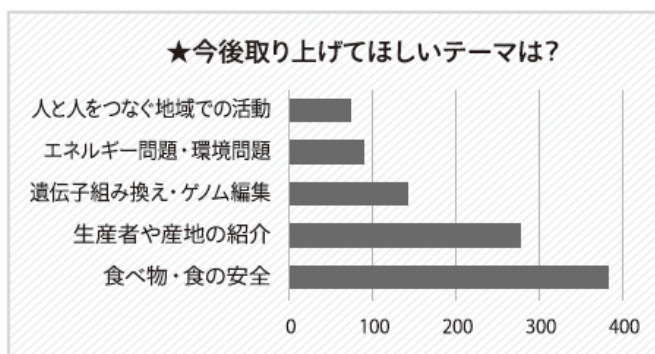
★昨年の生協フェスタに参加しましたか？



もっと多くの人に来てほしい！知らなかったから行かなかった、と答えた人が前回と比べてかなり減っていて、フェスタの広報がうまくいった結果かな、と少しうれしかったです。



消費材人気は予想通りですが、最近通信で力を入れている「インタビューシリーズ」もしっかり読んでいただいているのがわかりました。



食べ物以外の分野もしっかり伝えていきたいですね。



そのままでも美味しい

国産シュレッドチーズ



生産者：雪印メグミルク(株)

市販されているシュレッドチーズのほとんどには、添加物のセルロース（結着防止剤）が入っていますが、生活クラブで取り扱っているシュレッドチーズはそれが無添加です。

また、他の消費材のシュレッドチーズは加熱調理用ですが、このそのままでも美味しい国産シュレッドチーズは、ネーミング通りそのままでもおいしく、二通りの味が楽しめます。

チーズトーストもあえて加熱せずバラバラと乗せて食べるときも多くあります。トースターに入らないロールパンサンドに使ったり、薄く焼いたホットケーキでくるむと甘じょっぱく一味違います。タコスの具材や野菜サラダのトッピングなど生食ならではの利用がたくさんあります。もちろんピザやグラタン、お好み焼きなどにもお勧めで、お正月のお餅が残った時など餅ピザにすると子どもたちに人気ですすぐにお餅はなくなります。もともとチーズが好きで常備していましたが、更に手軽になんにでも使えるこのチーズは手放せません。

（平野ブロック理事 福地香）



←原料チーズ「全酪ゴーダ」の熟成工程



シュレッドチーズライン →

生産者メッセージ



国産100%のナチュラルチーズをそのまま手軽に味わうことが出来る製品を作ること、より多くの人にそのおいしさを知ってもらい、頑張る日本の酪農生産者の応援もして欲しいという思いから、2022年11月にそのままだも美味しい国産シュレッドチーズの供給が開始されました。本品は、原料チーズの一部に生活クラブ指定生産者の生乳だけを使用して作られる「全酪ゴーダ」を使用しており、熟成されたゴーダチーズのコクとチェダーチーズの爽やかなうまみを感じられ、供給開始から約2年間組合員の皆様からご好評いただいています。短冊状にカットされているため、使いたい分だけ手軽に利用できます。そして、ハンバーグやグラタンなどの加熱・余熱調理に加えて、そのままでも食べられるため、サラダやタコライス等の幅広い用途でも利用できます。担当者のおすすめレシピは、おかかチーズおにぎりです！ご飯の余熱でほんのり溶けたチーズは絶品です。

また、市販のシュレッドチーズでは、袋の中でチーズ同士が結着することを防ぐために添加物であるセルロースを使用しますが、そのままでも美味しい国産シュレッドチーズは、セルロースを使用していないため、チーズの味を存分に楽しめます。私も全酪連は、酪農生産者のロマンと消費生活者の安心をつなぐスペシャリストとして、これからも日本の酪農を支え続けていきます。まだ利用したことがない皆様もぜひ一度ご賞味ください。

※1 リステリア菌検査済
※2 チーズ同士が結着しない工夫としてチーズは独自の幅にカット、水分値が高すぎない原料を使用している。

（全国酪農協同組合連合会 酪農部乳食品課 西村まどか）



4 月

会員数	10,429人			
給付状況	消費材の破損	1件	健康診断補助	4件
	延長保育	1件	活動に伴う車の使用に対する保険	16件
	託児	地区	暮らしの たすけあい	47件/11人
		全体	暮らしの サポート	23時間/9人

エッコロ事務局



☎/FAX 072-641-5811

エッコロ共済
WEB サイト



(注) 駐在日がしばらくの間不定期となります。不在の場合は留守番電話に組合員コードと名前を入れてください。または Fax で用件を送ってください。折り返し連絡します。

入学祝い申請についてのお知らせ

エッコロ共済入学祝いの対象は、エッコロ共済加入者で 2025 年 4 月に小学校に入学するお子さんがいて、継続して消費材を利用している組合員です。(祖父母は申請できません)

申請される方は 4/8、4/15 週配布の申請書を提出してください。

締切日は 5/30 (金) 厳守

㊤ 締め切り後の申請は受け付けられません。入学祝い申請と同時にエッコロ共済に加入することもできます。この機会に加入してたすけあいの輪に入りませんか？

※エッコロ共済の加入確認は、消費材の請求書をご確認ください。加入者には「エッコロ金 100 円」と記載されています。

203 号 (4 月号) 掲載「日常的なたすけあい」の件数

誤) 132 件/28 人 → 正) 98 件/26 人

お詫びして訂正します。



都会に住み核家族で子育てと仕事をする中で、孤独と違和感を感じ、一昨年大阪能勢に移住しました。皆の子を皆でみながら、米・野菜を育てて一緒に食べるという活動【ミロク堂】をしています。



ティータイム

Tea Time

「協生土還」

根っこの想いは『協生土還』です。その心は、個が損得で動くのではなく、地球のために協力して生きる世界。動植物、微生物、菌もウイルスも全てが地球のために命を全うしているけど、人間だけが土に還ることを忘れて、調和を乱しています。どれほど多くの命が重なって命をいただいて生かされているか。せめて最後は、土になって地球の養分になりたい。命よりもお金(経済)が優先される社会はもう終わりにしましょう。

一人ひとりができるところから、野菜穀物を育てるとか、動物と共に暮らすとか、生産と消費を再び重ねて合わせていきましょう。本音と向き合ってちゃんと生きて土に還る、そんな暮らしを自分一人から創りたいという方と一緒に活動したいと思っています。

(光風地区 金野裕美)

生活と自治

■2024年12月号 連載 ロードマップその先の明日へ

「知ることは希望！」

—環境活動家が伝える気候危機に立ち向かう方法—

この記事中に、すべての海水からマイクロプラスチックが検出され、「海はプラスチックのスープ」と表現されていることに、危機感を抱いた。悲観的になりがちな話題だが、社会を変えるために何よりも大切なのは、初めの一歩である。それが「知ることは希望」とあり、前向きな気持ちになれた。

知らなければ行動もできない。より多くの人が少しでも地球に優しい選択をできるように、私ももっと前向きに行動していこうと思う。

(港・大正地区 磯崎 裕子)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。

理事会報告
3月24日

大淀コミュニティセンター

○ 24年度活動報告案、25年度活動方針案の提案・討議

○ GMナタネ自生調査活動 活動計画を決定

○ エスケー石嶮生産者交流会活動計画を決定

○ 25年度エッコロ共済連携福祉団体活動助成金を決定

○ 25年度託児スタッフ研修会活動計画を決定

○ 冬の共済キャンペーン 最終報告を確認 目標663件に対し、実績450件

○ 春の紹介キャンペーン計画 (3/24〜6/6)を確認

つばやき

2月上旬に、ひとつだけ花が咲く苗を買った。それが今、春の日差しを浴び、続々とつばみを増やし育っている。春はいい！ 全くの素人の私でも嬉しくなる。窓の外がヤマモモの木でも、鳥たちが騒がし気にしている。



昨年は、巣立ちしたばかりの小さな雛たちが「シマエナガ」のように、枝に整列した姿を見せしてくれた。そんな春のヒトリキ。さあ、人間たちの世界は新年度。新しいスタートだ！

(U)